

## 花と食のコラボ発信

### 土っ子田島farm

昨年花職人Aizu を卒業させていただき、土っ子田島farmとして花と食の同時開発をスタートしました。花作りの私たちと食品加工の息子夫婦、花と食のコラボ発信をはじめて2年目の土っ子田島farmです。今回は我が家の小さな小さなMPS4つをご紹介します。きます。



いつも笑顔の絶えない我が家

### ①水揚げバケツをキッチリ洗うこと！

我が家にバケツを洗うことの重要性を教えて下さったのは昭和花きの管家さんでした。以前、輸入物の切り花がなぜ持つのか管家さんに海外での取り組みの話をお聞きしたことがありました。「お風呂の水を毎日取り換えないとヌメリが出てくるでしょ。あれがバクテリアだと思ってください…」「ヒエ～」この一言が湯田家キッチンバケツ洗いとなりました。毎日腰を曲げてゴシゴシゴシゴシ…20、30個洗っているうちは良いけれど50～60個となってくると2回目からはもうやる気がなくなっていました。そこでバケツ洗い用の最高級シンクを中古で買いました。せっかく立派に作ってもバクテリアで導管をつまらせては、つまりませんもの！（うまい！）



### ②作業場をなおしたこと！

輸入物が日持ちする理由の一つに、収穫後の管理の仕方のお話もお聞きしました。作業場の温度、湿度の大切さを痛感した主人は無い金をはたいて、はたいても無かったので借り入れをして、今の作業場を建てました。3年前のことです。出荷まで温度22℃、湿度は60%をなるべくキープ。細めな温度・湿度調整の目安は、お肌センサーとゼロハンテープの張り具合でチェックしています。カサカサとすずらの音が聞こえそうな花の状態で出荷できるようにがんばっています。



### ③圃場への必需品！

毎日圃場に行く時は必ずゴミ袋を持っています。圃場でみつけたビニールの切れ端、割れたパッカー、飛んできたゴミなどなど毎日少しずつですが、塵も積もれば山のごとく、「ビニール袋持った～？」はパートさんの中で口癖になっています。圃場がきれいだと仕事もする気になります。仕事をする気になると雑草も減ります。相乗効果ですね ^^



### ④発信します！

年4回春夏秋冬、土っ子田島farm だよりを発行しています。農家の苦手なところは発信することかな？ どんなにすばらしい取り組みでも発信しなければ相手に伝わりませんものね。自分のことは自分で発信するといったところでしょうか？ 我が家ではドラえもんポケットのようにパソコンを使いこなすお嫁さんが大きな戦力です。



### 最後に！

花の日持ちを左右するのは畑での作りが一番大きいことは間違いありません。主人がある本のインタビューに応えた時の言葉が私の心に残っています。「うちら農家は、自分の畑にある花しか見れないでしょ。いい花つくった気になっても、輸送や市場でどんな環境にさらされて、誰の手に渡ってどんな管理されてっか、結局どんくらい日持ちしたかわかりません。どんな環境でも大丈夫なんて保証はないし、やれることをやるしかないと思います」小さなことをキッチリやること。10を1回で済ませず、1を10回コツコツ積み重ねること。継続のために環境を整えること。MPSは小さなことの積み重ねそのものだと思っています。これからも「じね～んと」継続していこうと思います。

※じねんと＝会津弁でゆっくり、じゅりの意